

小諸市において回収されたコガモの死亡個体については、鳥取大学での検査の結果、鳥インフルエンザウイルスは陰性でした

本日、鳥取大学に検査を依頼していたコガモの死亡個体からは、鳥インフルエンザウイルスは陰性であったとの報告が、環境省からありましたのでお知らせします。

なお、引き続き全国各地で高病原性鳥インフルエンザが発生している状況にあることから、農家への衛生対策の徹底及び野鳥の監視を実施していきます。

1 発生場所等

- (1) 所在地:長野県小諸市
- (2) 死亡野鳥の種名:コガモ(メス) 1羽

2 発生の経過

- 1月27日 ・コガモの死亡個体1羽を佐久地方事務所林務課職員が回収
・佐久家畜保健衛生所での簡易検査結果は陽性
・精密検査のため、検査検体を鳥取大学へ送付
- 2月4日 鳥取大学の検査の結果、鳥インフルエンザウイルスは陰性だった旨、環境省から連絡

3 今後の対応

- (1) 発生地周辺半径 10km 以内については、強化していた死亡野鳥等調査及び鳥獣保護員等による巡回監視の体制を解除
- (2) 環境省が決定する野鳥サーベイランスの警戒レベルに基づき、死亡野鳥等調査を引き続き実施していく。現在長野県は「警戒レベル2」
(警戒レベル2:ハイリスク種33種は死亡1羽から、その他の種については 10 個体以上死亡していた場合に検査を実施)
- (3) 県民の皆さんへの注意喚起
死亡した野鳥などは素手で触らない、野鳥にむやみに近づかないなど

林務部森林づくり推進課野生鳥獣対策室
室長 塩原 豊 担当 松本 順子
電話:026-235-7273 (直通)
FAX:026-235-7279
E-mail:shinrin@pref.nagano.lg.jp